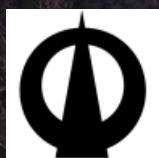


国道153号 伊那バレー・リニア北バイパス 改良促進期成同盟会

飯島町・中川村・松川町・高森町は、
国道153号におけるリニア駅までのアクセス強化を図るため、
高森町下市田から飯島町本郷間の改良・整備早期事業化を
目指し、要望活動を強力に展開します。

令和元年度

飯島町・中川村・松川町・高森町





ごあいさつ

<4町村の首長と議長>

国道153号伊那バレー・リニア北バイパス 改良促進期成同盟会

この度、飯島町・中川村・松川町・高森町の沿道町村では、関係者の同意の下、「国道153号伊那バレー・リニア北バイパス改良促進期成同盟会」を立ち上げ、国道153号の整備がスピード感をもって進展されるため、当道路の整備促進に向け協力をしていく事と決定いたしました。

国道153号は、伊那谷（伊那バレー）を南北に縦貫する唯一の国道であり、国から指定された重要物流道路として、物流や生活面において地域の重要な路線です。

リニア中央新幹線の2027年開業と三遠南信自動車道開通を見据えた中で、上伊那では伊南バイパス、伊那バイパス、伊駒アルプスロードの事業化、また、飯田・下伊那では、飯田北改良と飯田南バイパスの整備調査が始まっています。

このリニア開業と三遠南信自動車道の開通によるストック効果を、我が地域が十分に享受し、更に伊那バレー全域まで広く波及させるためには、国道153号の一体的な整備が必要です。

しかしながら、高森町下市田から飯島町本郷間の延長約18キロメートルは、急カーブ、急勾配の箇所が多く存在し、冬季の積雪、路面凍結に起因する交通障害や事故が多発しています。さらに、地域の経済活性による交通量の増加により、慢性的な渋滞も引き起こされていることなど、多くの課題が山積みされており、日常生活に支障をきたしていますが、現在、具体的な改良計画が無い現状です。

今後、これらの改良計画に加え、科学の粋を結集したりニア新時代を迎えるにあたり、リニア長野県駅と接続する国道153号は、全国に先駆けた未来志向の先進的かつ総合的な自動運転交通システム導入を見据えた、道路整備を考えなくてはなりません。

これはリニア長野県駅から自動運転専用レーンを設け、伊那バレーを縦貫する「基幹的公共交通」をバックボーンとして、道の駅等を拠点に各市町村内を自動運転で循環し、各種サービスを提供する「地域内公共交通」を整え、この2系統を接続させる新交通システム『伊那バレー交通網』の整備構想を描くものです。

今後、国道153号で世界最高技術のリニア中央新幹線へのアクセスを、最先端自動運転システムで構築することは、新たなライフスタイルの創出や、伊那バレーにお越しいただくお客様の移動手段として、大いに魅力的ではないでしょうか。

結びに、この同盟会の推進に際し、国県の関係者、町内外の方々のご理解とご支援を是非とも賜りますよう、切に希望いたしまして、あいさつといたします。

令和元年7月10日

期成同盟会 会長
飯島町長

下平 洋一

期成同盟会 副会長
高森町長

名生 照玄

期成同盟会 理事
中川村長

宮下 健彦

期成同盟会 理事
松川町長

宮下 智博

「国道153号伊那バレー・リニア北バイパス」

同盟会が目指すリニア新時代の新自動運転交通システム構想案

●自動運転車両専用レーン●を有した、新しい規格の道路整備が望まれます。

リニア中央新幹線の開業

三遠南信自動車道の開通

「伊那バレー交通網のイメージ図」

自動運転により基幹公共交通と地域公共交通を接続させ、新公共交通システムを構築

①基幹公共交通

リニア駅と伊那バレーを専用レーンで縦貫

②地域公共交通

道の駅等を拠点に市町村内を循環各種サービスの提供



国道153号伊那バレー・リニア北バイパス改良促進期成同盟会事務局

飯島町	建設水道課
中川村	建設水道課
松川町	建設課
高森町	建設課